

明治三十三年六月

清韓國境事情偵察、為ノ平壤分館
附警部巡查義州へ出張ノ件

北境情況ニ関スル報告ハ清
國義州關憲署略擧ニ関
スル件中ニ在リ

外務省

5-1318

0000

電報の送付

大臣

電信課長

主任

次官

主管

清国

電報

電受第二六九

號

明治三十三年六月廿六日午後三時五分

青島外務省

王平漢

新社社長主任

清韓國境事情偵察局局長
部義好へ送るに付、他如左の如く
旅費概算書内別添支出す
清

外務省

電報の送付
電報の送付
電報の送付
電報の送付
電報の送付



明治三十三年 七月 二 日 起 草
同 年 月 日 發 遣

（封印付）

七月廿三日

山香

政務局

主任

通商局

電送第七四號
明治三十三年七月三日
午後三時三十分

在平壤
新庄分館主任、青木外務大臣

（不送） 電信案

清韓國境事情恒案、外務部巡
査出張ノ件、前々外務大臣及外務省

外務省



省八ノ南ノ見

公信第百二十号

警部監査ノ境、出テモ、ハ件
案詰

官報付ル查シ、常時、異州ノ派遣、被ハ
件、本年四月、為、身、二、及、業、中
、心、右、理、夫、上、左、難、九、成、尤、五、特、
、出、片、マ、要、シ、其、事、由、及、新、
、十、日、月、英、第、二、四、号、シ、ラ、七、日、市、ノ、百、三、
、大、人、如、何、申、リ、官、道、ノ、國、境、ノ、境、
、在、外、公、館、

ノ、地、ノ、故、人、心、も、勤、極、易、キ、事、ト、存、シ、
、付、上、降、北、境、ノ、清、兄、ノ、親、家、ノ、一、ハ、右、モ、又、要、
、兼、ト、シ、レ、ハ、且、放、車、ノ、要、シ、テ、来、ル、故、印、
、去、年、五、月、日、仁、川、由、電、報、シ、ラ、カ、キ、
、旅、費、概、算、百、月、分、途、上、出、之、事、
、案、詰、及、之、ハ、有、テ、何、年、七、事、
、尤、モ、取、締、步、旅、費、既、着、
、百、之、付、ル、查、名、及、案、中、
、中、外、各、務、
、明、治、三、年、三、月、
、任、平、康、ノ、望、任、
、在、平、康、
、任、之、章、

外務大臣之壽書木周藏殿

在平康
分館主
任之章

5-1318



會計課
人事課
政務局
總務長官

大臣
DoKi

5

Seoul, 19-7-1900 3 - p.m.
 Reed, 20-7-1900 4-36 "
 aoki
 Tokio
 162. In view of probability that disturbances in 遼東 may spread into Korean soil, it is necessary to obtain reliable reports. I have therefore instructed 新庄 at 平壤 to let 外務省警部 and 領事館巡查 who have been sent to 義州 to continue to stay there and to watch and report on the matter. Under the circumstances, may I send one 領事館警部 and three or four 領事館巡查 to 平壤 from 京城 to increase 平壤 police force. I have also

電受第一一〇六號

66m

要旨了

to ask your Excellency to send certain number of 領事館巡查 to 京城 in order to fill up 定員.
 Nagasaki

電受第 號

5-1318



大臣

電信課長

主任

次官

主管會計

電受第三二七

號

明治三年七月廿一日午後九時四分

着

青木外務大臣

在籍 林全権大使

第百六十三號

平壤より警部巡查ヲ義州へ出張
セシメテ月程滞留在セシムル為テ旅費日
当概算三百圓至急電送アリ也

外務省

總務課了

明治三十三年 七月三十一日 起草
同日發遣

會計課長

主任

主任

私印

第二號

青木の報告書

新庄組事務分限責任状

要旨

明治三十三年七月三十一日

林良俊より青木陸二様へ 費用三〇〇圓 仁川

と書送す

外務省

子
あ
か
ら

5-1318

0013

大臣

電信課長

主任

次官

主管人事課

會計課

電受第三三六

號

明治三十二年七月廿五日

午三時五分

發着

事務部長

主事

林有権

外務省

外務省 電報部 電報課

電報課長 林有権

電報課長 林有権

電報課長 林有権

外務省

明治
同 年 月 日
起 草
發 遣

分 詳

去 條

會計
電 信

加 添

外務省
電 信 部

電 号

電 号

(電 号)

電 信 部

林 有 権 侯

吉 本 邦 大 臣

外務部 出 査 主 張 出 決 申 報 文 字

外 務 省

5-1318

0015

Handwritten notes on the right margin, possibly a reference or date.

冊 849/...

總務長官

Handwritten signature or mark.

Handwritten notes at the top left, including a circular seal.

機密第六八號

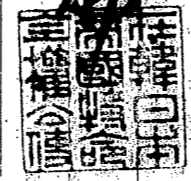
警備部 海防局 杉村

Main body of handwritten text in vertical columns, detailing a report or communication.

大正七年七月二十七日

立件

持命を授け伏林様



大正七年七月二十七日



要付了

大臣

電信課長

主任

次官

主管會計

電受第 三三四號

明治三十三年

八月九日 午九時五分

發着

青木外務大臣

京城

林正權二使

第百八十三号

電報第百八十三号 平壤分館
主任ノ請求、後人 務部 出遣
義州ニ出張旅費至急御取計
アリタシ又電報、至急御
回答ヲ乞フ

外務省

發信了

明治三十二年八月十日 起草
同日發遣

發信了



主任

附送第三號
明治三十二年八月十日

電信業 青木外務大臣

暗册

在東京
林全權不使

電報房百六十三號請赤ノ旅費ハ七月二十一日

平壤公館、電送セリ

外務省

5-1318



要旨付了

大臣

電信課長

主任

次官

主管

電受第四〇一

號

明治廿二年八月廿二日午前十時五分

着發

高木外務大臣

上野

井上権吉使

外二六號

本壞分館主任了る、同電報より
義の口張旅費は廿月ニシテ、九月
一六、見出シ、少同、要ス、依ニ、右金額
電送アリ、義の方面、記帳、者あり
演、必要ト思考ス

外務省

明治三十三年八月廿二日
同 年 月 日
起草 發遣

發遣

會計課長

印

主任

印

三十三年八月廿二日

吉本外務大臣

在子讓
新庄領事館分館主任宛

電信掛

林公使より電信掛料二〇〇円

川上電送員

外務省

5-1318

0020

新J'092

機密第九二號

主官人書

鴨綠江義州方面へ出張せしハ格ハ總官ハ故キ手
 當等欠乏ニ起ルハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 省之差當リ復キハ必要ニモシハ故キ手ハ故キ手
 此ノ我禁部ハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 同時ニ以テ補欠ハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 之名ハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 亦モハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 之モ及ハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 斗ハハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 亦モハ故キ手ハ故キ手ハ故キ手
 昭々ニ示シテ九月廿五日

立神心

在韓國日本公使館

持命全權少佐林權助

外務大臣ヨリ青森県長ニ